

インドネシア共和国
南スラウェシ州バル県地域総合開発
実施支援プロジェクト
終了時評価報告書

平成 12 年 1 月

国際協力事業団
青年海外協力隊事務局

序 文

インドネシア共和国における青年海外協力隊事業は、1988年の開始以来これまでに約290名の隊員が派遣され、現在49名の隊員が活動中です。南スラウェシ州バル県地域総合開発実施支援プロジェクトは、協力隊活動の歴史が比較的浅い同国における初めてのチーム派遣であり、1995年1月から計5年間にわたり実施してきました。

同プロジェクトが平成11年12月末をもって終了するにあたり、協力実績の把握及び協力効果の測定を行うとともに、今後の協力方針について協議し、調整することを目的として、平成11年11月25日から12月8日まで評価調査団を現地に派遣しました。同調査団は、インドネシア政府関係者と共同で本プロジェクトの評価を行うとともに、プロジェクト・サイトでの現地調査を実施し、成果の確認を行いました。そして帰国後の国内作業を経て、調査結果を本報告書に取りまとめました。

この報告書が今後の協力のさらなる発展のための指針となり、協力隊チーム派遣を評価する手法の確立に資する評価の事例として広く参考とされることを期待いたします。

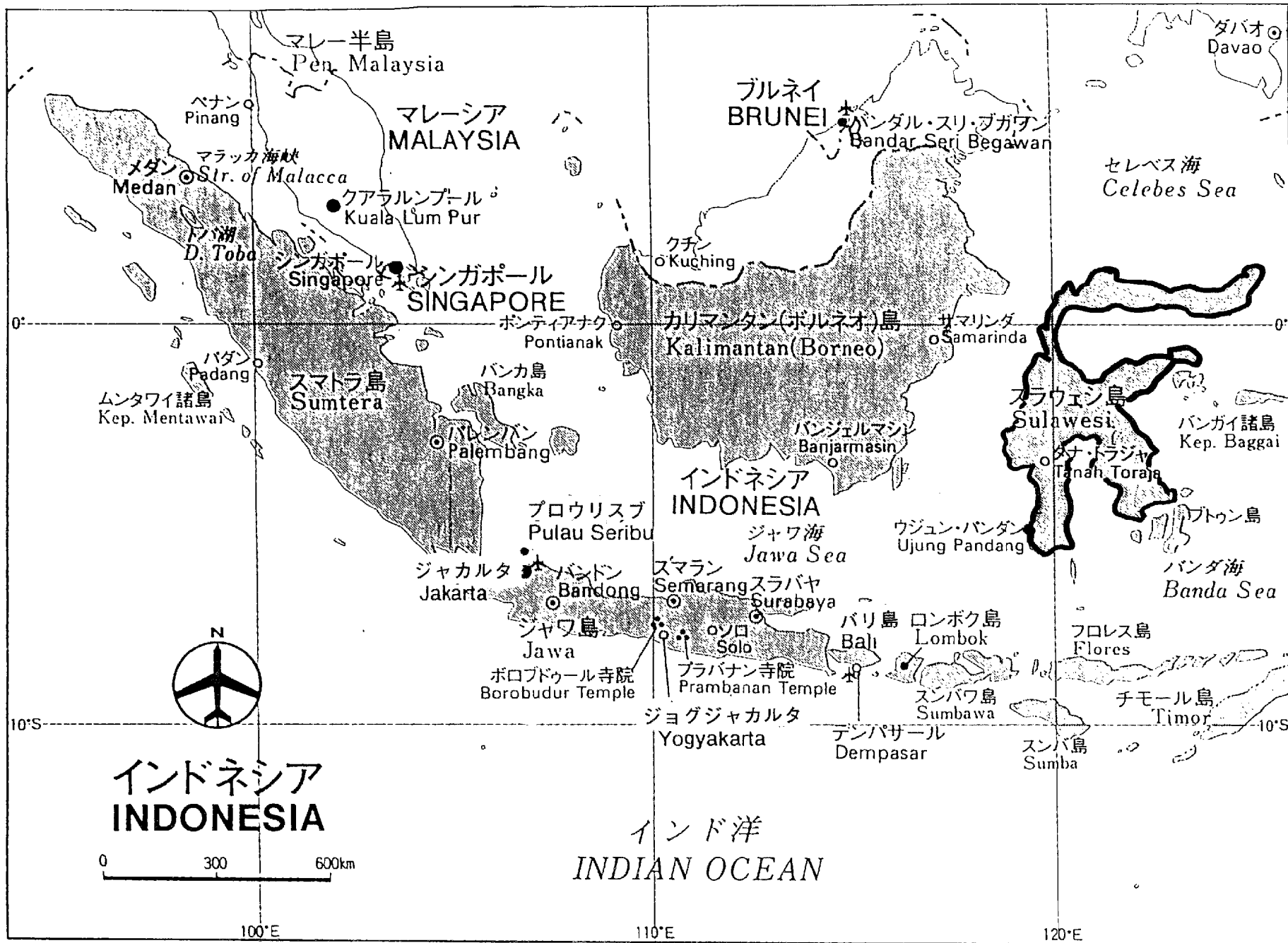
終わりにプロジェクトの実施にご協力、ご支援くださった両国の関係者の皆様に、心から感謝の意を表します。

平成12年1月

国際協力事業団

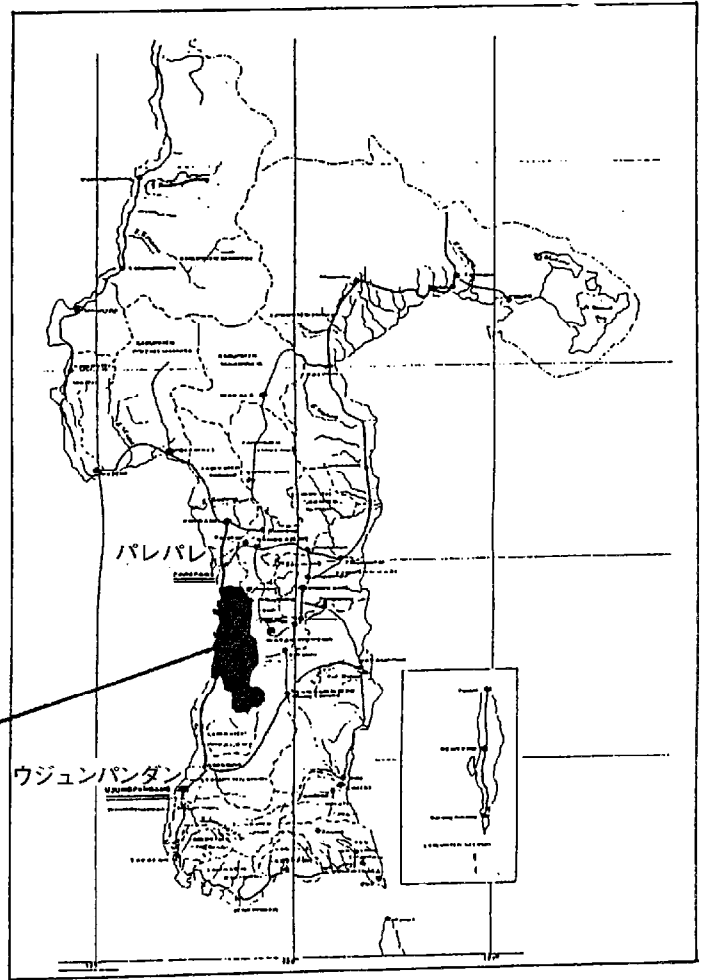
青年海外協力隊事務局

局長 金子洋三

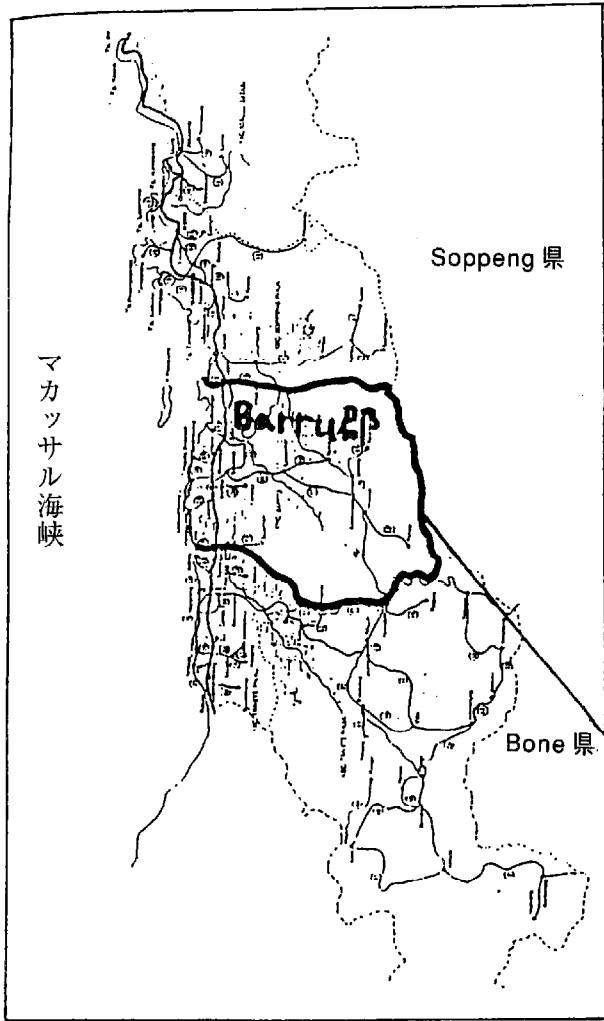


プロジェクト位置図

南スラウェシ州

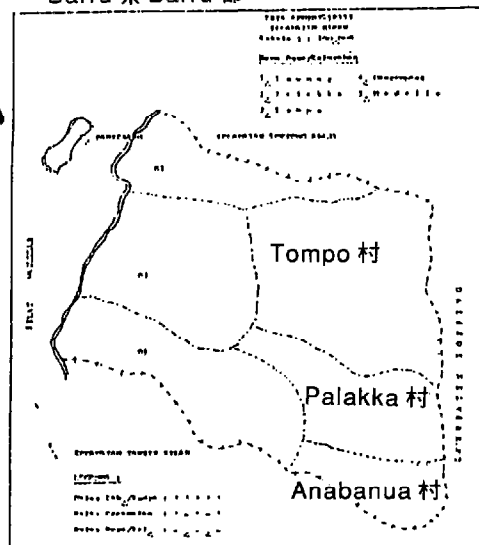


Barru 県

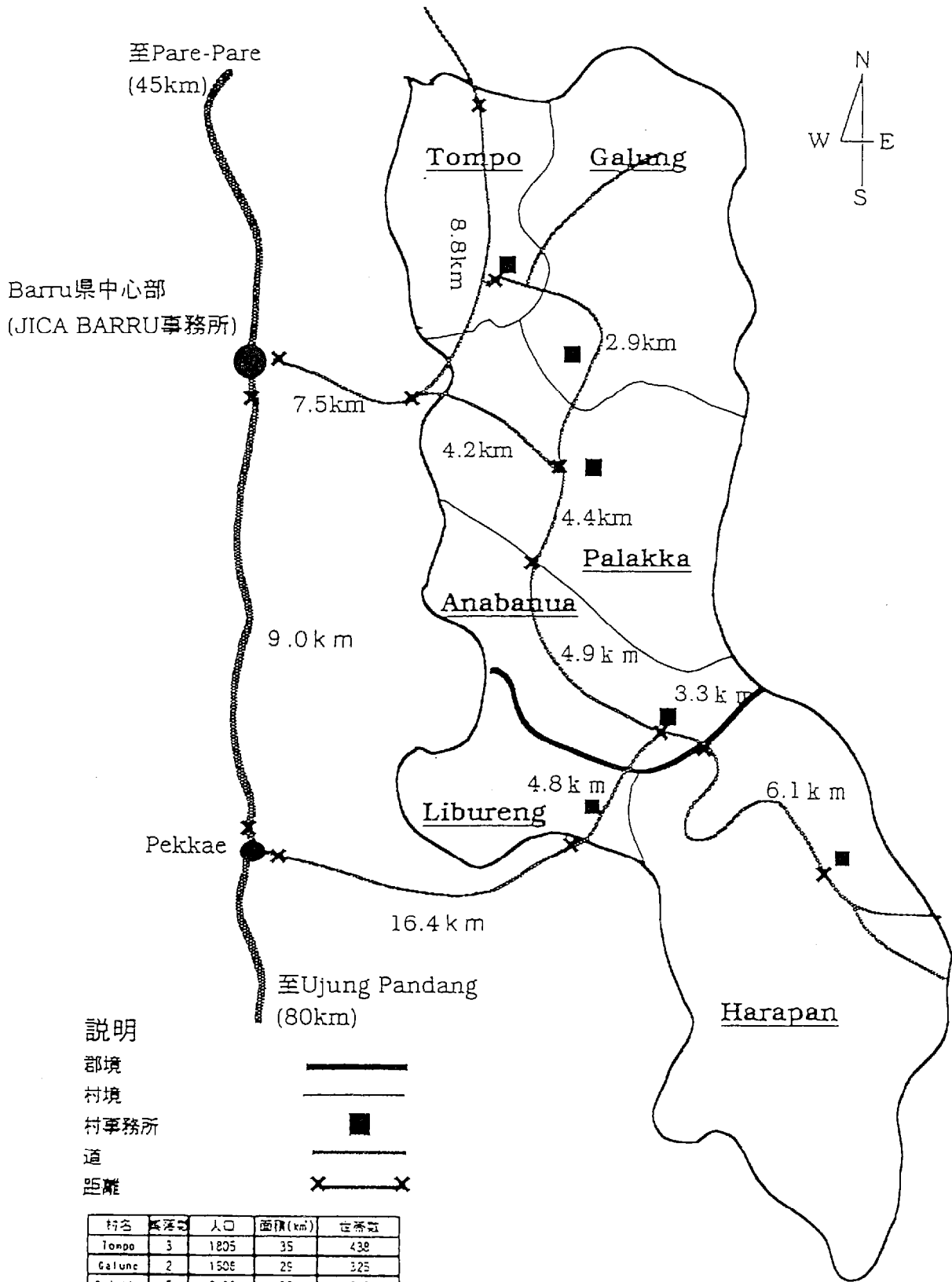


Barru 郡

Barru 県 Barru 郡



プロジェクト対象地域概略図



説明

- 郡境
- 村境
- 村事務所
- 道
- 距離

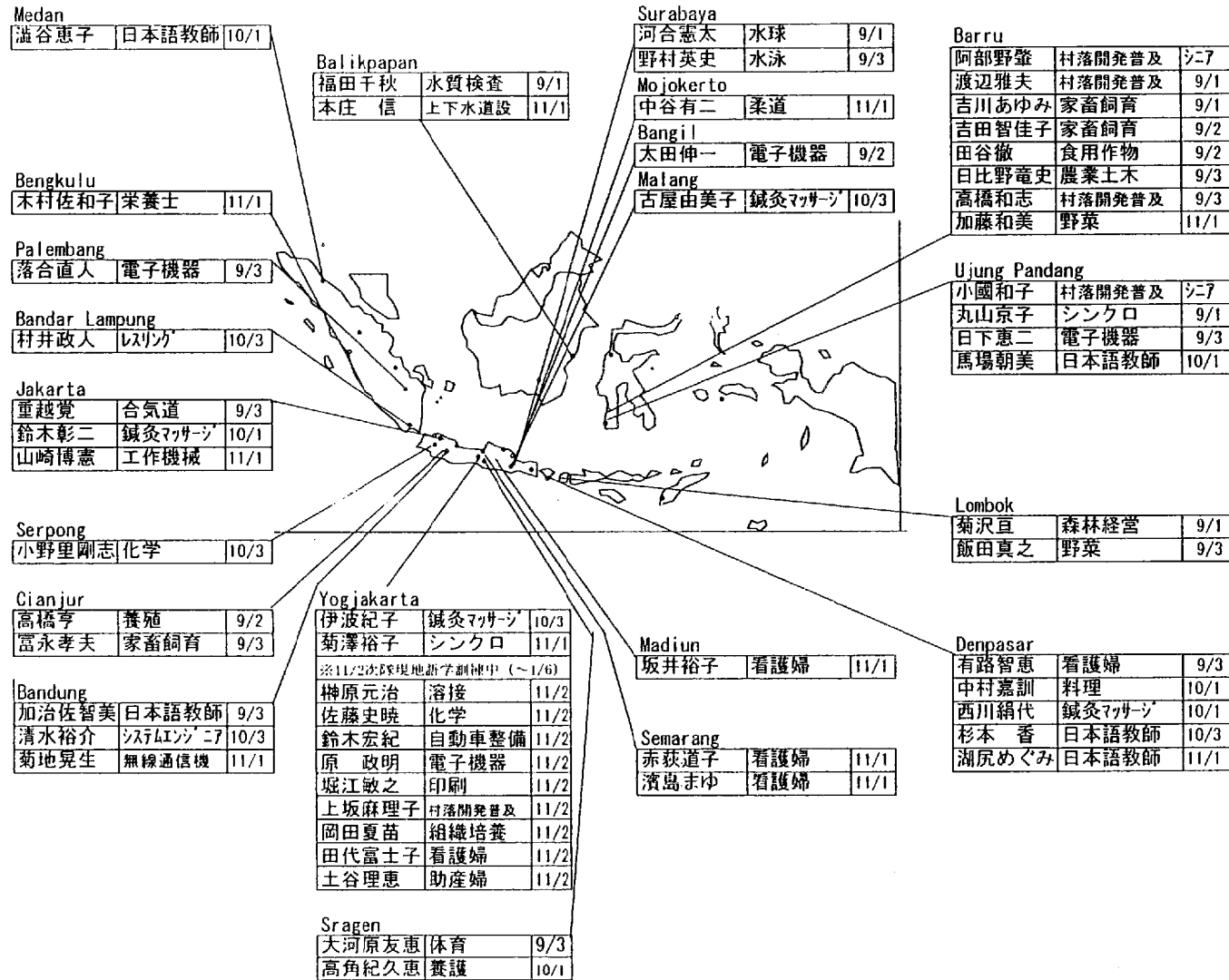
村名	集落数	人口	面積(km ²)	世帯数
Tompo	3	1805	35	438
Galung	2	1506	25	325
Palakka	5	2436	36	605
Anabanua	4	1416	20	348
Libureng	4	2840	25	554
Harapan	5	3222	53	765

* 郡事務所より (1997/7)

青年海外協力隊インドネシア隊員配置図

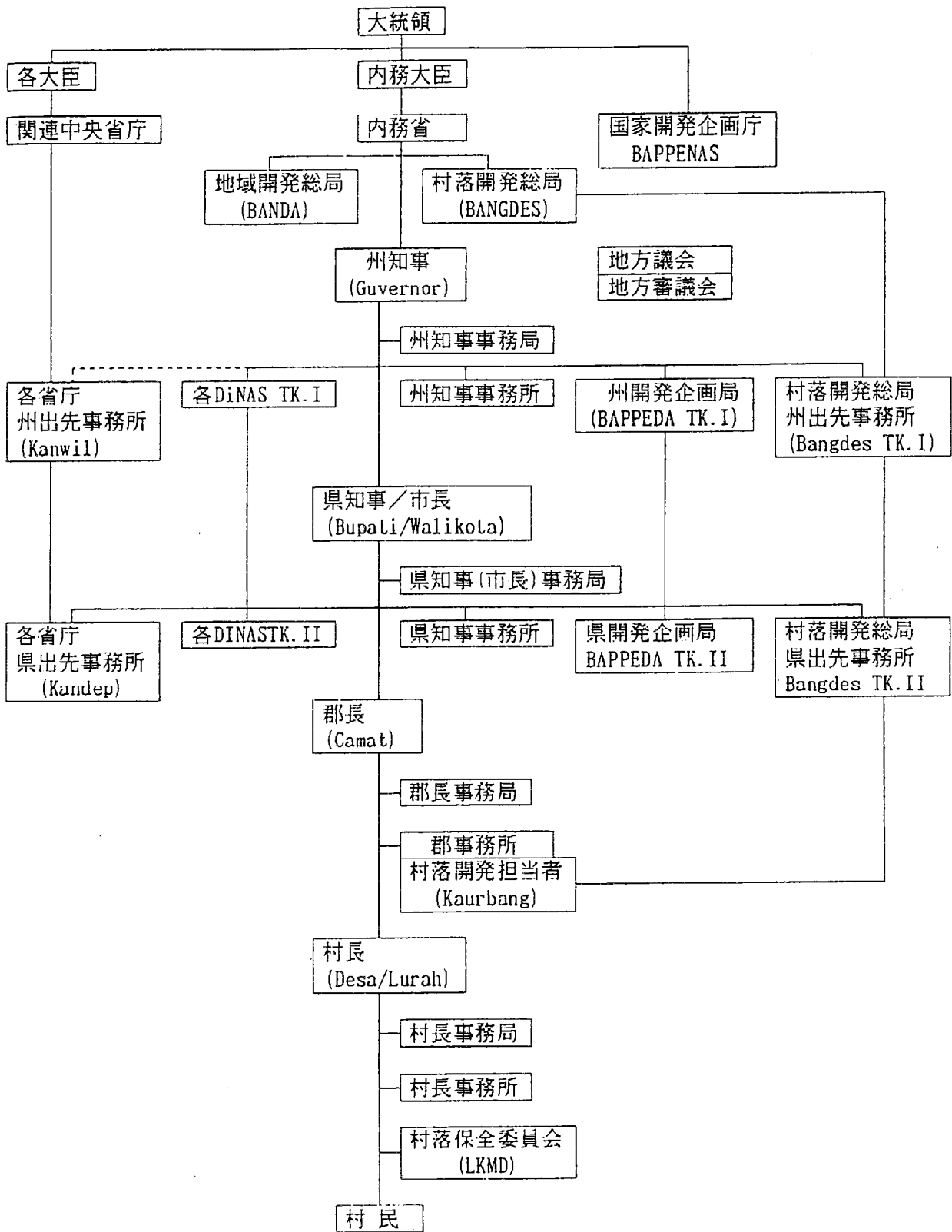
平成11年12月1日

隊員数55名 (女性26名)



配属省庁	職種	在任数
保健省	看護婦	5
	栄養士	1
	助産婦	1
インドネシア体育協会	水泳	1
	水球	1
	シンクロ	2
	レスリング	1
社会省	電子機器	4
	養護	1
	鍼灸マッサージ師	4
	体育	1
労働省	印刷	1
	工作機械	1
	溶接	1
農業省	自動車整備	1
	獣医師	0
	野菜	0
国家警察本部	柔道	1
	合気道	1
	システムエンジニア	1
	無線通信機	1
教育文化省	日本語教師	1
	家畜飼育	1
	司書	0
	園芸作物	0
	農産物加工	0
観光芸術文化省	養殖	1
	日本語教師	4
	料理	1
林業省	森林経営	1
	村落開発普及員	4
内務省	家畜飼育	2
	野菜	1
	食用作物	1
	農業土木	1
	化学	2
科学技術応用評価	組織培養	1
	水質検査	1
公共事業省	上下水道設計	1
	村落開発普及員	1
協同組合省	野菜	1
	合計	55

インドネシアにおける地域開発及び村落開発の行政組織図



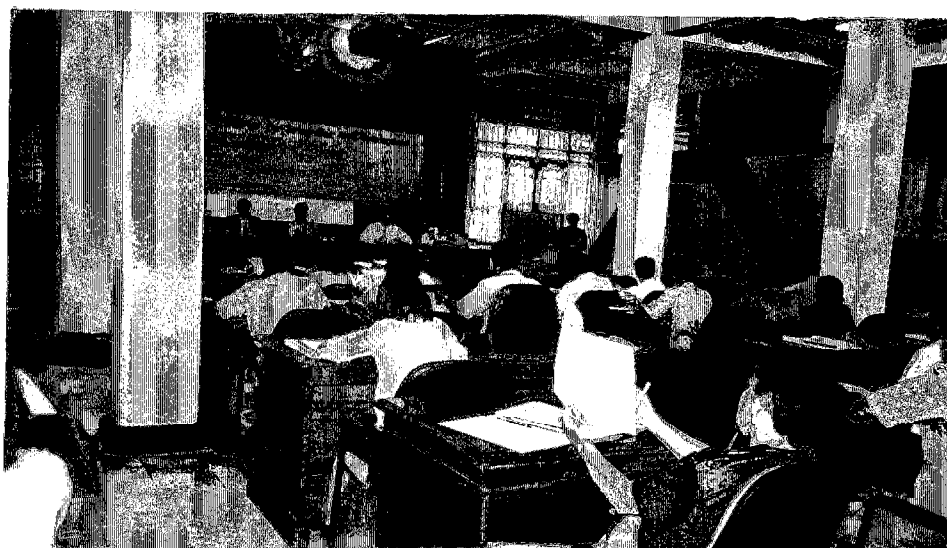
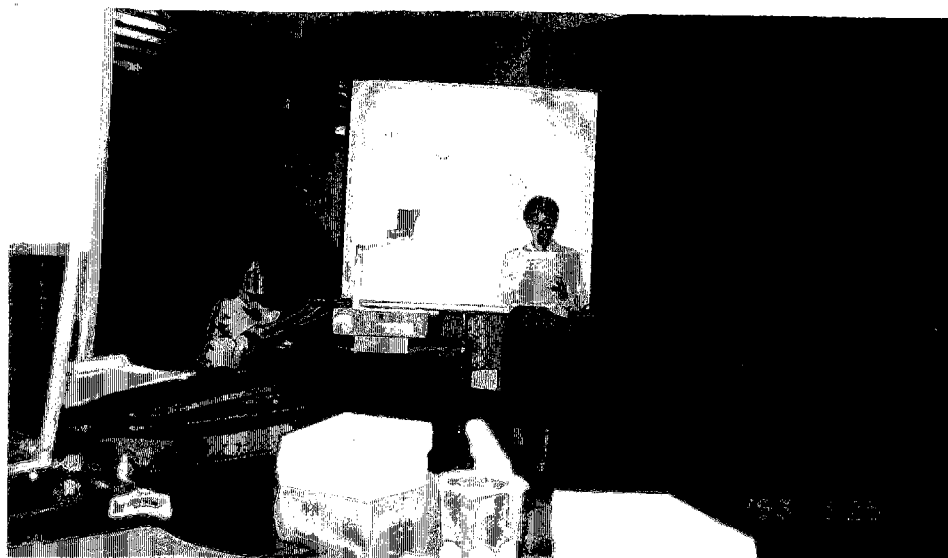
合同評価チームによる現地視察
(1999年12月1日)



隊員及びC/Pのバル県における成果発表セミナー
(1999年12月2日)



隊員及びC/Pの州（マカッサル市）における成果発表セミナー
（1999年12月3日）



合同評価会議・ミニッツの署名
(1999年12月6日)



略 語 表

BANGDA	: 内務省地域開発総局
BAPPEDA	: 地域開発企画局
BAPPEDA TkI	: 州地域開発企画局
BAPPEDA TkII	: 県地域開発企画局
BAPPENAS	: 国家開発企画庁
C / P	: カウンターパート
DAC	: 開発援助委員会
DINAS	: 地方政府(技術)事務所
JPCM	: JICA プロジェクト・サイクル・マネジメント
M / M	: Minutes of Meeting
NGO	: 民間非営利団体
PDM	: プロジェクト・デザイン・マトリックス
PPWT	: 総合地域開発計画

目 次

プロジェクト位置図

隊員配置図

インドネシア行政組織図

写真

略語表

< 調査概要 >	1
第1章 評価調査実施概要	2
1 - 1 調査背景・経緯	2
1 - 2 調査目的	3
1 - 3 調査団員構成	3
1 - 4 調査日程	3
1 - 5 主要面談者	4
1 - 6 終了時評価調査の方法	5
1 - 7 評価項目	6
1 - 8 プロジェクト概要	7
第2章 プロジェクトの技術協力的側面の評価	8
2 - 1 計画達成度	8
2 - 1 - 1 投入実績	8
2 - 1 - 2 活動実施状況	9
2 - 1 - 3 成果達成状況	9
2 - 1 - 4 プロジェクト目標の達成状況	10
2 - 1 - 5 上位目標及びスーパーゴールの達成の見込み	11
2 - 2 評価5項目による評価結果	11
2 - 2 - 1 目標達成度	11
2 - 2 - 2 効果	12
2 - 2 - 3 効率性	13
2 - 2 - 4 妥当性	13
2 - 2 - 5 自立発展性	14

第3章 協力隊チーム派遣における人的交流促進・国際協力人材育成等の側面の評価	16
3 - 1 人的交流促進について	16
3 - 2 協力隊チーム派遣における国際協力人材育成について	16
3 - 3 プロジェクトを協力隊チーム派遣で実施したことについて	17
第4章 プロジェクト終了後の対応	18
4 - 1 終了後の対応方針	18
4 - 2 フォローアップ協力の概要	18
4 - 3 フォローアップ協力実施上の留意点等	19
第5章 教訓・提言	22
5 - 1 教訓	22
5 - 2 提言	23
< 団長所感 >	25
付属資料	
資料 1 プロジェクト概要	31
資料 2 終了時評価 PDM 表	33
資料 3 計画達成度	34
資料 4 目標達成度	35
資料 5 活動実施状況整理表	36
資料 6 隊員へのアンケート結果 1・2・3	39
資料 7 派遣中隊員によるワークショップの結果	58
資料 8 合同評価ミニッツ	61
資料 9 フォローアップ・ミニッツ	89
資料 10 事業自己評価表	96
資料 11 事業評価会議実施報告書	151
資料 12 第三者評価報告書	227
資料 13 小國和子シニア隊員(プロジェクト調整員)の活動最終報告書	333